

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並芸術会館の維持管理			款	3	項	1	目	3	事業	3	整理番号	71							
担当部課名	区民生活部管理課			係名	文化振興担当			連絡先電話番号	3755		昨年度整理番号	80	枝番号							
上位施策No・施策名	66 文化・芸術活動の基盤整備												予算事業区分							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等			根拠法令等	(1) 杉並区立杉並芸術会館条例 (2) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則											
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図ります。			活動指標名(式)			(1) ホール(B・C)の貸出し回数=3時間帯×開館日×2室 (2) 芸術文化普及振興事業の実施延日数												
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 協定に基づく指定管理業務(開館までの準備業務を含む)を実施する。			成果指標			(代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
		成果指標名(1)	ホール利用率			算定式・指標の説明等		ホール年間延利用回数÷年間延貸出可能回数×100												
		成果指標名(2)	芸術文化普及振興事業への参加人数			算定式・指標の説明等		公演事業の年間延観客動員数+教育的事業への年間延参加人数												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		22年度									
指標	活動指標(1)		回	0	0	0	0	0	857	1,886	0.0									
	活動指標(2)		日	0	0	0	0	0	200	400	0.0									
	成果指標(1)		%						80	80	#VALUE!	#VALUE!								
	成果指標(2)		人	0	0	0	-	-	20,000	43,000	#VALUE!	#VALUE!								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,568	34,573	32,342	164,469	157,466	243,474	20年度予算執行率% 95.7										
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項										
	(内)委託費		千円	6,191	30,282	28,830	156,158	149,208	225,148	杉並芸術会館は平成21年5月に開館するため、活動指標及び成果指標の数値は開館後となります。(各年度の主な経費の推移)										
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00 0.00	0.90 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	18年度... 指定管理費(開館前準備業務)									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	9,060	8,226	9,140	9,050	9,050	9,050	19年度... 指定管理費(開館前準備業務)										
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	芸術監督費										
	総事業費 + +		千円	15,628	42,799	41,482	173,519	166,516	252,524	運営評価委員会費										
	単位あたりコスト (-)÷		円						294,660	20年度... 指定管理費(開館前準備業務、維持運営業務)										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0	芸術監督費									
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0	運営評価委員会費									
都からの補助金等		千円					0	0	ブレ事業委託費											
その他の補助金等		千円					0	0	13,000	21年度... 指定管理費(維持運営業務、芸術文化普及振興実施業務)										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0	13,000	芸術監督費										
差引:一般財源 -		千円	15,628	42,799	41,482	173,519	166,516	239,524	運営評価委員会費											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 71

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		指定管理者との協定に基づく指定管理業務	1	件
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	芸術監督報酬ほか			4,200
	運営評価委員会開催	2	回	215
	プレ事業の実施	5	回	9,409
	その他( )			4,649
(2)事業実績	平成21年5月の開館へ向けた準備作業を、芸術監督、指定管理者、パートナーシップ協定団体と充分に連携をとりながら進めました。また、指定管理者は平成21年度以降に行う芸術文化普及振興事業の準備を進め、平成20年12月26日の施設引渡以降は、施設の維持運営、プレ事業、施設内覧を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高円寺会館改築後の施設(杉並芸術会館)に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにしました。 施設の運営に関しPFI方式も検討されたが、指定管理者制度を導入することになりました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小劇場や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール、阿波踊り利用を優先した阿波踊りホール等を有し、個性的な新しい芸術文化施設として、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれています。
	今後の予測	地域住民の文化芸術活動・阿波踊りの活動の拠点となり、高円寺や杉並の魅力を発信していくとともに、施設への利用者・来場者の増加による高円寺地域の活性化が期待されています。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	優れた舞台芸術を中心とした芸術文化の普及振興を図るとともに、区民のさまざまな文化・芸術活動の拠点として、区の芸術文化活動のための基盤の整備に大きく貢献しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	21年5月の開館後、本格的に管理運営業務がスタートした後に検討を行います。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	他の区立施設等に準じた施設利用料金を決めました。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	21年5月の開館後、本格的に管理運営業務がスタートした後に検討を行います。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 指定管理者	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	平成20年度の建設・準備段階から、「座・高円寺地域協議会」の活動を中心として、本施設への支援、また、施設開館をきっかけとした地域活性化への機運が生まれており、5月1日のオープニングの時にはその力が結集した素晴らしい出来栄と集客力を発揮しました。今後その動きを一層上げ、高円寺地域の活性化につなげていきます。また、区の文化振興施策において、杉並公会堂、文化協会等との関係等、本施設の位置付けを整理し、効果的な運営を目指します。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)								
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設の維持運営については、指定管理者と協議しながら、より効率的な維持運営の方法を検討していきます。また、芸術文化普及振興事業については、指定管理者がチケット収入や助成金・賛助金を増やせるような支援を行っていきなど、インセンティブを上げていきます								
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 初期時(オープン後の1、2年)に発生する様々な状況等を踏まえながら、改善・見直しの方向性を定めていきます。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由 オープン後の2年間で社会的に認知される重要な期間であるため、21年度と同規模の維持運営・芸術文化普及振興事業を実施していきます。								

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並芸術会館の建設	款	3	項	1	目	4	事業	2	整理番号	75		
担当部課名	区民生活部文化・交流・男女共同参画課	係名	文化振興担当			連絡先電話番号	3755			昨年度整理番号	81	枝番号	
上位施策No・施策名	66 文化・芸術活動の基盤整備						予算事業区分	投資事業					

事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 工事施工業者及び工事監理者													
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	優れた舞台芸術の創造と発信など芸術文化の普及振興を図るため、また区民の文化・芸術活動の場として、条例の目的を達成するための機能を確保した施設を建設します。													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	旧高円寺会館の解体工事(18年度) 杉並芸術会館の建築工事(18～20年度) 初度備品の整備(20年度)													

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)											
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	4	40	38	100	100		0		100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	559,730	670,755	393,027	2,217,729	2,191,838		20年度予算執行率%		98.8	
	(内)投資的経費等	千円	559,730	670,755	393,027	2,216,758	2,190,869		特記事項			
	(内)委託費	千円	559,730	670,755	393,027	1,859,808	1,859,800					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.23	0.00	0.20	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.65	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	2,084	1,828	4,570	4,525	5,883				0
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	561,814	672,583	397,597	2,222,254	2,197,721				0	
	単位あたりコスト (-)÷	円										
	財源	受益者負担分	千円	0	0	47	0	0				
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/					
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/					
特定財源計 + + +		千円	0	0	47	0	0				0	
差引:一般財源 -	千円	561,814	672,583	397,550	2,222,254	2,197,721				0		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0		

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 75

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並芸術会館の建築工事			
		杉並芸術会館の建築工事監理委託			38,195
		初度備品の整備			330,841
		その他 ( )			1,197
(2)事業実績	施設を竣工(20年11月末)し、初度備品の整備を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高円寺会館改築後の施設に劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにしました。施設の建設に関しPFI方式も検討されましたが、区が整備することとなりました(運営面では指定管理者制度を導入)。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小劇場や、高円寺会館の機能を引継ぐホール等を有する新しい芸術文化施設に対しては、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれています。 工事期間中の十分な騒音・振動対策について、近隣住民から要望が出されました。
	今後の予測	舞台芸術や阿波踊りを始め、芸術文化振興の重要な拠点施設として、地域住民に親しまれ、地域の活性化に寄与していくことが予測されます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	左の理由または具体的内容 芸術文化活動の拠点整備に貢献するとともに、地域の活性化の推進が図られます。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	各種工事会議や指定管理者との検討・協議などを通して、施設の機能を最大限に高められるような施工内容に繋がりました。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	施設整備事業においては、受益者負担は考えていません。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	本施設に求められる機能の確保や安全管理に必要な建設経費を精査して算出しています。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	劇場機能を持つ施設の建築工事と舞台設備工事に実績のある施工事業者及び設計事業者に、工事の請負及び工事監理を委託することにより、「杉並区ならではの文化を育みつつ、世界へと新しい文化芸術を発信していく」施設に相応しい機能を備えた施設が仕上がりました。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減	コスト: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 建築工事は平成20年度に完了するため、該当ありません。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ● 予算なし
	(2)理由 建築工事は平成20年度に完了するため、該当ありません。	



# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		郷土博物館の運営管理			款	7	項	5	目	1	事業	6	整理番号	526		
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館			係名				連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	605	枝番号		
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			博物館利用者		根拠法令等		(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例						
	事業の目標		(対象をどのような状態にしたいのか)			歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらおうとともに、区民の杉並への理解と関心を深め愛着心を高める。		活動指標名(式)		(1) 企画展・講座・教室等事業実施回数 (2) 収蔵資料総数						
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)			資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託 展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事の周知・実施 学校教育等への支援・連携 研究紀要・年報等の発行		成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 事業参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) アンケート結果 算定式・指標の説明等 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点						
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画	実績		計画				
指標	活動指標(1)		回	29	40	40	40	40	40	40	40	40	40	100.0	100.0	
	活動指標(2)		点	124,844	125,644	126,347	127,000	128,455	129,100	123,000	104.4	101.1				
	成果指標(1)		人	13,396	-	55,047	56,000	50,866	55,000	60,000	84.8	90.8				
	成果指標(2)		点	-	2.80	2.64	2.80	2.65	2.80	2.80	94.6	94.6				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,213	19,720	13,651	22,606	15,809	21,048	20年度予算執行率%		69.9				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	1,276	564	1,276	特記事項						
	(内)委託費		千円	3,108	4,918	3,633	5,614	5,524	5,080	平成20年度から活動指標及び成果指標を変更したため、指標数値が記入できない部分があります。展示経費・郷土資料購入費不要額による執行残です。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.64 1.42	2.20 11.00	2.23 11.00	4.50 11.00	5.01 11.00	3.50 12.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	14,858	20,108	20,382	40,725	45,341	31,675							
		(内)非常勤職員分	千円	4,019	30,470	30,470	30,800	30,800	33,600							
	総事業費 + +		千円	29,090	70,298	64,503	94,131	91,950	86,323							
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,003,103	1,757,450	1,612,575	2,321,375	2,284,650	2,126,175							
	財源	受益者負担分		千円	1,240	1,249	1,747	1,249	1,632	1,249						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		千円				0	0	0								
その他の補助金等		千円				0	0	0								
特定財源計 + + +		千円	1,240	1,249	1,747	1,249	1,632	1,249								
差引:一般財源 -		千円	27,850	69,049	62,756	92,882	90,318	85,074								
受益者負担比率 ÷		%	4.3	1.8	2.7	1.3	1.8	1.4								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 526

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特別展・企画展・講座・教室等の開催	40	回	10,881
		博物館事業の運営管理経費(執)			4,500
		郷土博物館運営協議会の開催	4	回	428
		その他( )			0

(2)事業実績  
特別展・企画展・講座・教室等の開催により、26,064人の来館者がありました。刊行物として「炉辺閑話」、「研究紀要・年報」、「研究紀要別冊」、展示図録(3回)を発行しました。郷土博物館運営協議会を4回開催しました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年4月郷土博物館分館開館 入館者数の減少:平成元年17,326人、平成2年24,622人、平成10年18,884人、平成15年14,027人、平成19年14,923人(本館)・17,028人(分館)、平成20年13,324人(本館)・12,740人(分館)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けており、特に目立った要望・苦情等はありません。
	今後の予測	運営管理の見直しについて、平成23年度実施に向け検討を行います。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	左の理由または具体的内容 当区における文化活動の基盤整備の一翼を担っています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	運営の効率化とサービスの一層の向上を図るため、運営管理を委託します。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	博物館法により維持運営のためにやむを得ない事情がある場合を除き、利用に対する対価の徴収はできなくなっています。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	運営の効率化とサービスの一層の向上を図るため、運営管理を委託します。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題  
企画展示や講座などの事業について、計画的に実施しました。なかでも「2.26事件の現場」は、ここ数年の特別展示として1日あたりの入場者数が一番多く好評でした。また、分館の区民参加による展示コーナーも好評で、協働も進みました。しかし、事業参加者は減少傾向にあり、今後は常設展示のリニューアルやボランティア解説員など区民に利用される環境を整備する必要があります。また、平成23年度には地域のNPO団体へ業務委託を実施し、区民自らが運営に参加して地域の文化を学ぶ博物館づくりを推進し、活性化を図っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減         コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 運営管理の見直しについて、平成23年度実施に向け検討を行いました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成23年度を目途に、運営管理の委託化を目指します。
22年度方針	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域に密着した運営を行うための受け皿づくりのため、平成21年度すぎなみ地域大学において「郷土博物館の管理運営講座」を開催し、人材の養成を行います。
	(1)22年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2)理 由 前年度同様の予算規模で事業の充実を図ります。

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		郷土博物館の維持管理			款	7	項	5	目	2	事業	1	整理番号	533		
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館			係名				連絡先 電話番号	3317-0841		昨年度 整理番号	606		枝番号	
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備											予算事業区分			
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input checked="" type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		博物館利用者			
	事業の目標		(対象をどのような状態にしたいのか)		歴史的・文化的資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。											
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)		本館、分館、西田小学校展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫6か所の維持管理											
根拠法令等		(1) 博物館法		(2) 杉並区立郷土博物館条例												
活動指標名(式)		(1) 開館日数		(2)												
成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標														
成果指標名(1)		入館者数														
算定式・指標の説明等																
成果指標名(2)		アンケート結果														
算定式・指標の説明等		満足を3、普通を2、不満を1とした平均点														
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		日	295	295	295	294	294	295	294	294	100.0	100.0			
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		人	14,756	25,000	31,951	35,000	26,064	30,000	35,000	74.5	74.5				
	成果指標(2)		点	-	2.80	2.46	2.80	2.63	2.80	2.80	93.9	93.9				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	50,648	37,354	29,911	41,360	37,101	38,424	20年度予算執行率%		89.7				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	5,692	4,688	1,727	特記事項 光熱水費節約による執行残です。						
	(内)委託費		千円	16,351	21,743	21,741	25,725	25,305	22,187							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.32 0.00	1.32 0.00	4.30 0.00	1.50 0.00	1.72 0.00	1.50 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	11,959	12,065	39,302	13,575	15,566	13,575							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	62,607	49,419	69,213	54,935	52,667	51,999							
	単位あたりコスト (-)÷		円	212,227	167,522	234,620	167,493	163,194	170,414							
	財源	受益者負担分		千円	33	41	40	45	38	45						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		千円				0	0	0						
その他の補助金等		千円				0	0	0								
特定財源計 + + +		千円	33	41	40	45	38	45								
差引:一般財源 -		千円	62,574	49,378	69,173	54,890	52,629	51,954								
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 533

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		本館施設維持管理(保守管理委託、光熱水費、施設整備、維持管理)	1	館	29,572
		分館施設維持管理(保守管理委託、光熱水費、施設整備、維持管理)	1	館	7,529
		その他 ( )			0
(2)事業実績	本館及び分館等を適正に維持管理するため、建物の保守管理及び不良箇所の修繕等を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	収集・保管資料数の増加:平成元年108,045点、平成21年128,505点 本館収蔵庫での保管が困難となり、学校(6校)の教室を保管場所としています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	修理不能で利用できない設備の改善等の要望があります。
	今後の予測	施設の老朽化により、修繕費等の増加が見込まれます。 資料数の増加により、今後さらに保管場所の確保が困難になります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	当区における文化活動の基盤整備の一翼を担っています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	計画的に老朽化した施設の整備を行うことで一定程度の施設の改善が可能です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	博物館法により維持運営のためにやむを得ない事情がある場合を除き、利用に対する対価の徴収はできなくなっています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	施設の老朽化により、今後一層維持管理経費の増加が見込まれます。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	当該年度には、映像機器の更新や長屋門等への防犯システムの設置(本館)、案内板の設置やひさし工事(分館)など、利用者が安心かつ快適に利用できるように修繕・工事を精力的に実施しました。しかし、入館者数は依然として減少傾向にあり、効果的にPRを行うほか、引き続き利用者の目線に立った安全で快適な施設環境の構築に努める必要があります。また、収蔵品の保管場所についても限界に近づいており、教育施設の改築計画に併せて収蔵庫建設を計画するなど抜本的な解決方法を考える必要が生じています。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	収蔵庫の確保に向け関係機関と協議を行いました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後の学校改築等の計画の時期を見据え、関係機関と協議し、収蔵庫の確保に取り組みます。計画的な修繕の実施に向けて、関係機関と協議していきます。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	関係機関の理解が得られるよう、引き続き協議します。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	施設の老朽化により、修繕にかかる経費について増加が見込まれます。							